

精神科リハビリテーション学Ⅱ

担当教員 平川 泰士

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 第2学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解できる。精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用法について理解できる。地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	医療機関における精神科リハビリテーションの展開①（精神専門療法・家族教育プログラム）
2	医療機関における精神科リハビリテーションの展開②（精神科デイケア・SST）
3	医療機関における精神科リハビリテーションの展開③（医療機関のアウトリーチ）
4	医療機関における精神科リハビリテーションの展開④（チーム医療・多職種連携と協働）
5	精神障害者支援の実践モデル①（意味と内容）
6	精神障害者支援の実践モデル②（治療モデル・生活モデル）
7	精神障害者支援の実践モデル③（ストレングスモデルの理論的背景）
8	精神障害者支援の実践モデル④（ストレングスモデルをベースとしたアセスメント）
9	相談援助の過程及び対象との援助関係①（概論・ケース発見、インテーク、アセスメント）
10	相談援助の過程及び対象との援助関係②（プランニング・モニタリング）
11	相談援助の過程及び対象との援助関係③（エバリュエーション・終結、アフターケア）
12	相談援助活動のための面接技術①（面接の種類と原則）
13	相談援助活動のための面接技術②（面接技法）
14	スーパービジョンとコンサルテーション①（スーパービジョン）
15	スーパービジョンとコンサルテーション②（コンサルテーション）

【履修上の注意事項】

「精神保健福祉士」国家試験受験科目である。各回の講義テーマについて事前にテキストに目を通し配布されたプリント内容をテキストで確認する、基礎的な用語を確認する、指定された課題に取り組むなど予習し、理解できなかった点を確認し復習をおこなうこと（毎回60分程度）。課題を元にした、学生間での積極的な協議・話し合いを通じた学習を行う。

【評価方法】

1. 理解度確認による試験評価（60%）講義時指定の課題・レポート・協議への参加状況（40%）による総合評価を行う。
2. 再試験を実施しない。

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校教会編『新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ』中央法規

【参考文献】

随時、講義時に指示する。